

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除手術における周術期合併症、腎機能と予後に関する観察研究
	研究目的	小径腎腫瘍に対して腎部分切除術は標準治療として位置づけられています。低侵襲性を求めて、近年ロボット支援腎部分切除(Robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy: RAPN)が保険適用となっています。当院においては2019年1月よりRAPNを導入しています。RAPNにおける周術期合併症、腎機能とがん予後を後方視的に観察し、当科の治療成績について比較、観察研究を行います。当科の診療実績における成績を客観視し、治療成績の向上や患者選択の最適化、合併症予防法の開発など重要なエビデンスの構築が期待されます。
	研究対象者	2019年1月から2023年5月に当センター泌尿器科にてロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 19 日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	鈴木 敦人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 泌尿器科 鈴木敦人 院内 PHS5439